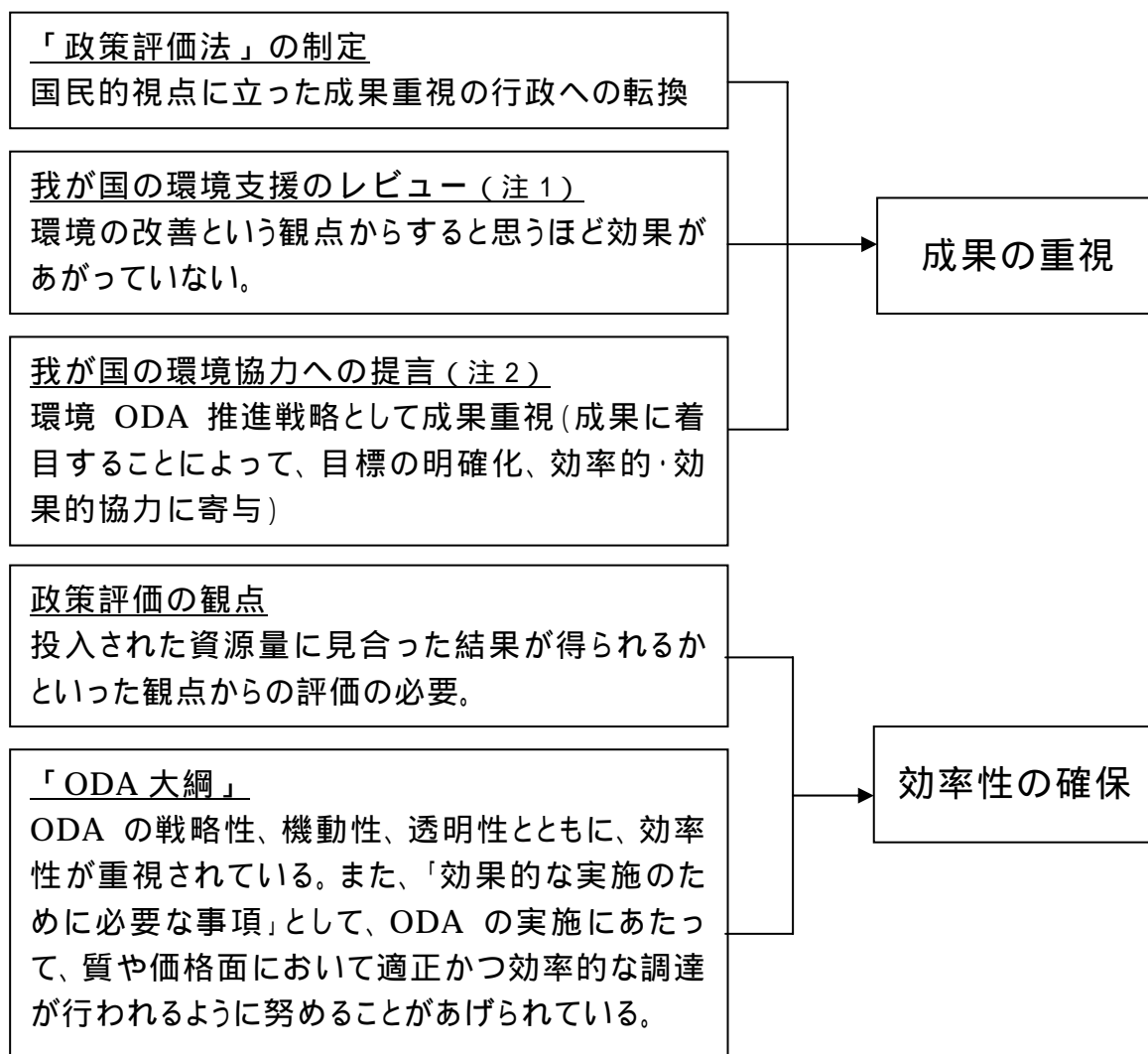


国際環境協力を進める上で配慮すべき事項（案）

1. 配慮事項（案）

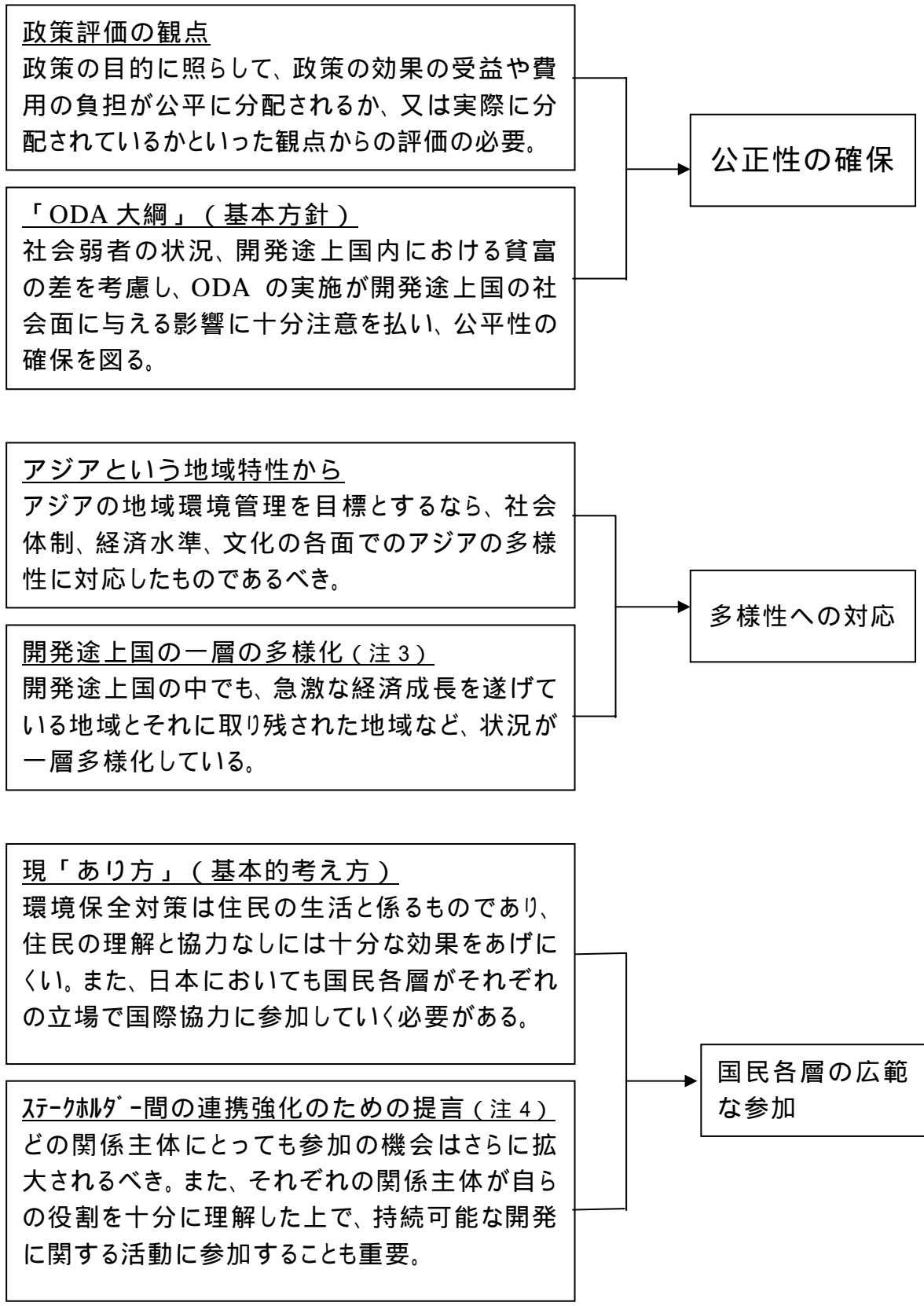
<p>それぞれの環境協力についての成果の重視とともに、投入する人力や資金の効率性の確保</p> <p>特定の利害関係者への利益供与や基本的人権の侵害など、社会正義に反することのないような公正性の確保</p> <p>それぞれの国・地域の文化の多様性への対応</p> <p>十分な情報の提供と、意見交換、提案の機会創出による国民各層の広範な参加</p> <p>透明性を確保し、利害関係者との対話に基づく合意形成を図ること</p>
--

2. 配慮事項（案）に係る考え方



注 1: 「持続可能な発展に向けた環境支援戦略検討会報告書」平成 14 年 3 月

注 2: 「第 2 次環境分野別援助研究会報告書」2001 年 8 月



注 3:「環境における国際的寄与・参加のあり方報告書」平成 12 年 6 月

注 4:「APFED 最終報告書」2004 年 12 月

